

平成 27 年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立倉吉西高等学校

学校長 足羽 英樹

評価日	平成 28 年 3 月 23 日 (水)	
評価・提言	学校の所見・改善策等	
<p><b>1. 今年度の自己評価について</b></p> <p>(1) 重点目標の達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長年西高に関わってきているが、挨拶、服装は本当に良くなっている。</li> <li>・自ら進んでゴミを拾う生徒が少ないとは、どういう事なのか。いつ来ても、きれいだと思っている。</li> <li>・スマホを使いながら歩いている西高生がいるわけではないが、学校としてスマートフォンの扱いはどうしているか。最近は中学生でも多くの生徒が持つと聞くが、高校生では持つ生徒がほとんどだと思う。西高生はバス停で決まりよく使っている姿を見るくらいだ。</li> <li>・スマートフォンを持って来ても、ロッカーにしまわせて、校内使用禁止とするなど検討されてはどうか。</li> <li>・授業改革について、教師の説明を聞くだけでなく、生徒の発言や活動のあるアクティブラーニングはどの教科でおこなっているのか。</li> <li>・家庭学習時間については、数値が出ているので C なのかもしれないが、生徒が発言したり、表現することへの抵抗が少なくなるなど、学習に対する意欲は向上していると思う。S1 生徒の 2 時間以上の学習時間の者が 60% もいるので、期待感がある。</li> <li>・ボランティア活動にも西高の生徒はよく頑張っており、その姿勢もすばらしい。評価できる。公民館の夏休みの学習ボランティアなど大変助かっている。</li> <li>・おとなしい生徒が多いとあるが、あまり出しゃばらないという日本人的な面でもある。最近大人にも指示待ち人間が多いと聞くが、ぜひ学校教育で自己表現できる生徒の育成をお願いしたい。</li> <li>・図書館展示の工夫や地域の歴史探究、県立博物館等情報発信の場からの学びなど良く取組んでいて、◎や○しかないのに評価が「C」は厳しい。少なくとも「B」である。</li> <li>・委員の意見を総合して「将来、地域貢献活動のでき</li> </ul>	<p>→挨拶や服装指導は継続していきたい項目である。</p> <p>→紙くずやガムが落ちていると言うことではない。廊下とか階段にほこりがあってもそのままの事があるという意見。</p> <p>→中部指導連盟の取り決めと同じで、本校は持ち込み禁止としている。今後、生活支援グループを中心に検討していきたい。</p> <p>→全ての教科で実施している。ペア学習やグループ協議、班学習など必要に応じて人数や方法を変更。</p> <p>→生活の奇跡を定期的に記入させ、家庭学習時間を把握している。何のための学習かと言った面の指導も含め、今後も継続して指導していく。</p> <p>→年間のべ約 300 人の生徒が活動している。生徒に伝えるための広報も工夫していきたい。</p> <p>→チャレンジグループ活動の取組として充実してきている。今後も取組みたい。</p>	

る人材育成」の評価項目の評価を「B」とする。(全員合意)

(2) 説明・公表について

- ・特になし

2. 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について

- ・チャレンジグループ活動の取組として、企業訪問や大学のオープンキャンパスへの参加など、生徒の視野を広げたり、志望動機の醸成をはかる上でよい機会。自分で取組むことが大切。成果発表も工夫して次のステージの生徒に活かしてほしい。
- ・学力向上事業の取組として、富山中部高校訪問し、学びの姿勢や探究活動の工夫などを視察され、先生方の研修も実践されている。今後の進路指導や授業改革に活かしてほしい。
- ・島根県の隠岐島前高校では、学外講師を呼んで、課題解決型学習に取組んでいる。島で学ぶ意義など参考になる事もあると思うので見学に行かれてはどうか。

3. 取組改善のための提言

- ・挨拶や服装を整えることは社会に出ても必要。西高生の服装は良いと感じる。挨拶も、すれ違ったとき良くしてくれて気持ちいい。
- ・授業公開はどのように実施しているのか。他教科の先生がたくさん参観される取組は良い。鳥取短大では、2週間を公開週間と位置づけて開催している。1週間だと時間割の関係でできないこともあるので2週間設定している。教員も緊張するが、生徒から、「普段よりよかった」等の意見があり、教員のやりがいになっている。
- ・今年の夏から、選挙年齢が18歳に引き下げられる。政治や社会問題に関しての意識を持たせることが重要。学校での取組はどうしているのか。
- ・最近、個人情報の保護について取り上げられる事例が多い。標的されれば、どこかから進入されてしまう。たとえば、ネットにつながっていないパソコンでも安心はできない。学校では、情報管理はどうなっている。

→S1の講演会や関連施設の訪問、大学等教育力活用等計画的に実施し、生徒に良い刺激を与えている。来年度は、S3の発表を7月に設定した。今年度から、S2は関西研修後から、次のステージに向けてスタートしている。この春休みも有効に使えらると思う。

→先進的な取組を行っている高校や大学の取組を詳しく知るための訪問などは、継続していきたいと考えている。

→良き生活習慣の確立の大切なポイントと考えて取り組んでいる。

→年2回実施。1日3教科。自分の授業の空き時間に授業を参観する。多くの先生が、複数教科参観し、放課後の意見交換も活発である。

→県の選挙管理委員会の講演を2・3年生で実施した。3月には、生徒がよく使用するスマートフォン等の使用について指導。また、「主権者教育実施要項」を作成して、計画的に実施できるようにした。

- ・6月のPTA総会では保護者を対象にした研修会を計画している。
- ・パスワードの設定や不用意にファイルを開かない事など、職員間で共通理解を進めている。共有USBの使用推進。